



## 平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 イムラ封筒  
コード番号 3955 URL <http://www.imura.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井村 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 河合 新一

TEL 06-6910-2511

四半期報告書提出予定日 平成26年9月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	11,834	4.3	483	45.4	537	39.1	357	21.2
26年1月期第2四半期	11,344	1.9	332	61.4	386	45.9	294	102.3

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 368百万円 (17.5%) 26年1月期第2四半期 313百万円 (76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	16.73	—
26年1月期第2四半期	13.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	19,982		11,882		59.4	
26年1月期	19,813		11,556		58.2	

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 11,864百万円 26年1月期 11,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,090	1.1	300	36.0	330	8.4	150	△41.8	7.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期2Q	21,458,740 株	26年1月期	21,458,740 株
② 期末自己株式数	27年1月期2Q	101,533 株	26年1月期	101,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期2Q	21,357,207 株	26年1月期2Q	21,357,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策の効果により企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費などに一部弱い動きもみられ、不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、企業・社会のコミュニケーションに幅広く貢献できるよう、徹底した構造改革に取り組み、お客様との強固な信頼関係の構築を図るとともに、品質保証体制の強化および製造原価の低減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は118億34百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は4億83百万円（前年同期比45.4%増）、経常利益は5億37百万円（前年同期比39.1%増）、また、市道拡幅による奈良新庄工場の二度に渡る土地収用に伴い、固定資産売却益20百万円、移転補償金36百万円、固定資産売却損22百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は3億57百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(封筒事業)

電力会社向け請求書用封筒の減少などがありましたが、商品仕入の強化やデザイン提案による関連商品の増加、臨時給付金案件や官公庁関連受注の獲得、金融機関向け現金袋の増加などにより、売上高は95億42百万円（前年同期比3.3%増）となりました。損益面では、増収に伴い時間外手当や運搬費が増加いたしました。固定経費の削減に努め、営業利益は3億81百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

(メーリングサービス事業)

総合提案力の強化に取り組み、企業の販売促進に伴うアウトソーシング案件の獲得に努めたほか、臨時給付金関連業務の受託などもあり、売上高は13億39百万円（前年同期比3.3%増）となりました。損益面では、不採算案件の見直しや固定経費の削減に努めたことなどにより、営業利益は69百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

(その他)

情報システム事業が堅調に推移し、また子会社における封入機の大型案件などもあり、売上高は9億52百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は31百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加して199億82百万円となりました。これは主に、有利子負債の返済により現金及び預金が減少した一方で、増収に伴い受取手形及び売掛金や電子記録債権が増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少して80億99百万円となりました。これは主に、仕入増に伴い支払手形及び買掛金が増加した一方で、有利子負債が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加して118億82百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は同1.2ポイント上昇して59.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億1百万円減少して28億45百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は3億32百万円（前年同期比157.3%増）となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益5億68百万円、減価償却費2億95百万円、仕入債務の増加額1億18百万円、移転補償金の受取額36百万円、資金の減少要因として売上債権の増加額5億31百万円、長期未払金の減少額1億13百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は2億9百万円（前年同期は3億円の支出）となりました。これは主に、資金の増加要因として有形固定資産の売却による収入57百万円、資金の減少要因として有形固定資産の取得による支出2億10百万円、信託受益権の増加額37百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は4億22百万円（前年同期は7億18百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の純減少額55百万円、長期借入金の返済による支出2億84百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出41百万円、配当金の支払額41百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成26年8月21日公表の「平成27年1月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、今後の需要動向が不透明であることから、平成26年3月14日に公表いたしました予想数値を据え置いております。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,302	3,005
受取手形及び売掛金	3,245	3,653
電子記録債権	354	484
商品及び製品	452	516
仕掛品	241	203
原材料及び貯蔵品	422	390
その他	1,360	1,495
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	9,366	9,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,719	1,668
機械装置及び運搬具（純額）	1,900	1,820
土地	4,303	4,243
その他（純額）	362	480
有形固定資産合計	8,286	8,213
無形固定資産		
その他	56	58
無形固定資産合計	56	58
投資その他の資産		
投資有価証券	1,362	1,380
その他	768	612
貸倒引当金	△26	△18
投資その他の資産合計	2,104	1,974
固定資産合計	10,447	10,246
資産合計	19,813	19,982
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,051	3,169
短期借入金	1,000	945
1年内返済予定の長期借入金	536	514
未払法人税等	42	67
賞与引当金	295	276
その他	1,102	1,228
流動負債合計	6,028	6,202
固定負債		
長期借入金	954	690
退職給付引当金	216	243
役員退職慰労引当金	410	407
資産除去債務	94	93
その他	553	462
固定負債合計	2,228	1,897
負債合計	8,257	8,099

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,363	1,363
利益剰余金	8,668	8,982
自己株式	△25	△25
株主資本合計	11,203	11,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337	346
その他の包括利益累計額合計	337	346
少数株主持分	15	17
純資産合計	11,556	11,882
負債純資産合計	19,813	19,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
売上高	11,344	11,834
売上原価	8,935	9,318
売上総利益	2,409	2,516
販売費及び一般管理費	2,076	2,032
営業利益	332	483
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	21	21
売電収益	—	0
その他	51	45
営業外収益合計	79	67
営業外費用		
支払利息	15	9
売電費用	—	0
その他	10	3
営業外費用合計	25	14
経常利益	386	537
特別利益		
固定資産売却益	0	20
投資有価証券売却益	38	—
移転補償金	—	36
特別利益合計	38	56
特別損失		
固定資産売却損	0	22
固定資産除却損	2	2
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	4	24
税金等調整前四半期純利益	420	568
法人税、住民税及び事業税	78	57
法人税等調整額	50	151
法人税等合計	129	208
少数株主損益調整前四半期純利益	290	359
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	2
四半期純利益	294	357

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290	359
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	24	8
繰延ヘッジ損益	△1	—
その他の包括利益合計	23	8
四半期包括利益	313	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318	366
少数株主に係る四半期包括利益	△4	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	420	568
減価償却費	291	295
のれん償却額	3	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△18
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	27
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39	△3
受取利息及び受取配当金	△27	△22
デリバティブ評価損益 (△は益)	△11	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36	—
支払利息	15	9
移転補償金	—	△36
売上債権の増減額 (△は増加)	△614	△531
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	311	118
長期未払金の増減額 (△は減少)	△120	△113
その他	△47	21
小計	131	315
利息及び配当金の受取額	25	22
利息の支払額	△15	△9
法人税等の還付額	6	0
法人税等の支払額	△17	△32
移転補償金の受取額	—	36
営業活動によるキャッシュ・フロー	129	332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△331	△210
有形固定資産の売却による収入	0	57
無形固定資産の取得による支出	△1	△13
投資有価証券の取得による支出	△1	△8
投資有価証券の売却による収入	155	—
投資有価証券の償還による収入	1	15
定期預金の増減額 (△は増加)	6	△6
信託受益権の増減額 (△は増加)	△131	△37
敷金及び保証金の回収による収入	1	6
その他	1	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300	△209
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450	△55
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13	△41
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△355	△284
配当金の支払額	△0	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△718	△422
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△889	△301
現金及び現金同等物の期首残高	3,934	3,147
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,044	2,845

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	封筒事業	マーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,233	1,297	10,530	813	11,344	—	11,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	0	36	54	91	△91	—
計	9,270	1,297	10,567	868	11,435	△91	11,344
セグメント利益又は損失(△)	288	57	345	△14	330	1	332

(注)1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発  
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売  
不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入  
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	封筒事業	マーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,542	1,339	10,882	952	11,834	—	11,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	0	36	66	102	△102	—
計	9,578	1,339	10,918	1,018	11,937	△102	11,834
セグメント利益	381	69	451	31	482	1	483

(注)1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発  
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売  
不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入  
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。